

東京農工大学におけるURAシステムと 専門職大学院での人材育成プログラム

東京農工大学

大学院工学府産業技術専攻 教授

先端産学連携研究推進センター 主任URA

伊藤 伸

東京農工大学のURAシステム整備の特長

■ 学長のリーダーシップ発揮を支援するシステムの整備

⇒ **大学戦略本部(本部長:学長)に直結したURA組織**を設置。大学研究戦略のシンクタンク機能とそれに基づくプロジェクト提案、若手教員育成支援などを実施。定量的指標提示のため**論文情報(質・量)や外部資金情報を一元化したデータベース**を構築。

■ 研究支援者の長期雇用を可能とする人事システムの整備

⇒ 学内で**ステップアップを図れる職階別任期制(3段階)**を当初から導入するとともに、労働契約法改正対応でも**長期雇用**との当初方針を維持
⇒ 事務組織の活性化にも貢献

■ 大学独自のURA能力開発プログラムの整備

⇒ **産業技術専攻(専門職大学院)で集中講義**を実施(25年度)
⇒ 26年度に産業技術専攻でURA育成のための**「研究マネジメント人材養成プログラム」(社会人向け)**を開講

これまでの成果

- **定量的指標に基づく全学的な研究プロジェクトを立案し、大学戦略本部で決定する戦略的な意思決定手法を確立**
- **大型科研費の支援候補者の選定と応募支援**
- **学長裁量経費による学内重点支援研究者への支援プロジェクトにおいて、支援候補者の選定と、外部資金獲得に向けた支援を実施**
- **産学連携の外部研究資金(JST事業)の獲得**
- **若手研究支援対象者を抽出、科研費獲得では、ロジカル・ライティングの面から申請書をブラッシュアップ(支援対象者の採択率は40%超)。**

学長のリーダーシップによるトップダウン的な取り組みと従来からのボトムアップ的な取り組みを一体化した研究支援マネジメントをURA導入により実現した。

全体最適を目指し、URAを配置する研究戦略センターと産官学連携・知的財産センターを、平成25年4月に先端産学連携研究推進センターに統合した。

工学府産業技術専攻の教育課程

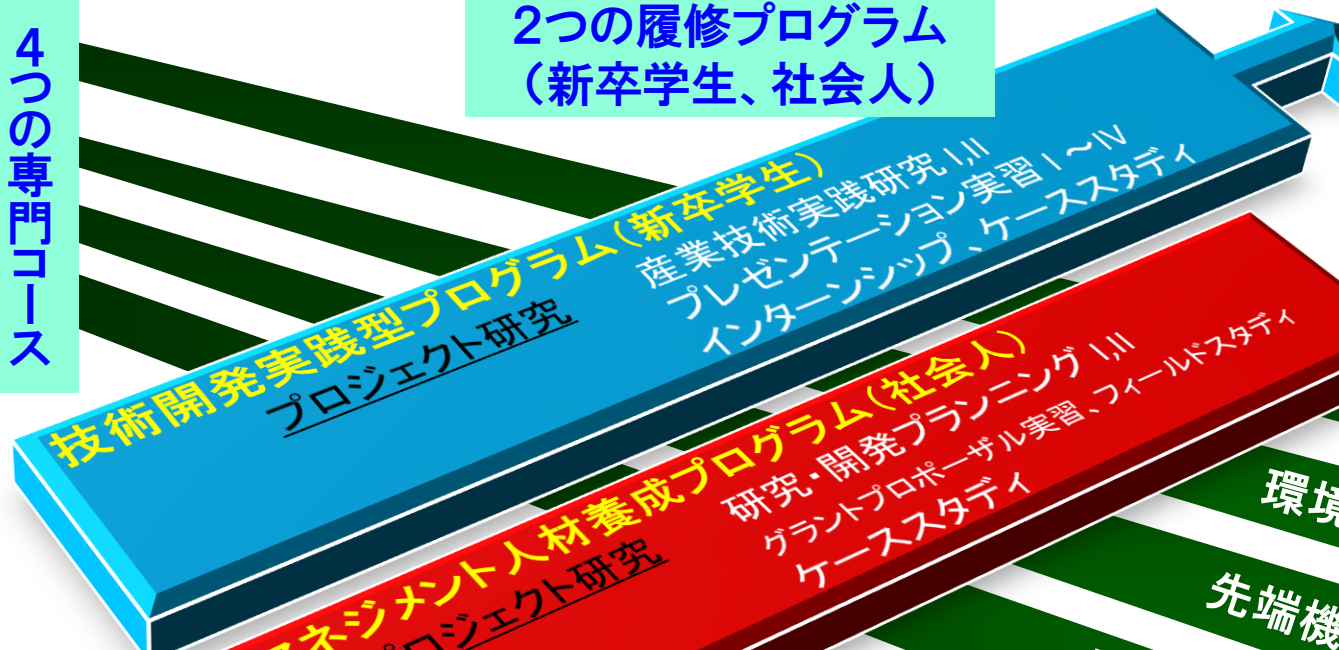
4つの専門コース

2つの履修プログラム
(新卒学生、社会人)

学位論文



学術研究者
企業研究者
博士課程進学



生命産業技術コース

環境・材料産業技術コース

先端機械産業技術コース

情報処理産業技術コース

専門職学位課程
定員 40人
修業年限 2年

研究プロジェクト提案

リサーチ・アドミニストレーター
プロジェクトマネジャー

平成26年度に社会人
向けプログラムを改正
→URAの育成



URAを育成する「研究マネジメント人材養成プログラム」

